

氏名	長谷川 真
学位の種類	医学博士
学位授与番号	甲 第305号
学位授与の日付	昭和44年3月31日
学位授与の要件	医学研究科内科系内科学専攻 (学位規則第5条第5項該当)
学位論文題目	Studies on the relationship between the function of reticuloendothelial system and the hematopoiesis 網内系機能と造血との関係に関する研究 Report 1. Experimental studies on the res functions using ⁵¹Cr-Labelled heat-Damaged iso-Erythrocytes in the induced hematological disorders of mice Report 2. Experimental studies hematological disorders of mice 第1篇 造血器障害惹起マウスにおける網内系機能に関する研究 第2篇 造血器障害惹起マウスにおける鉄代謝に関する研究
論文審査委員	教授 平木 潔 教授 小坂 淳夫 教授 大藤 真

学位論文内容の要旨

網内系機能と造血との関係については未知の点が多い。著者はI C R系マウスに chloramphenicol (C P) 注射, human gammaglobulin (H.G.G.) 注射, H.G.G. 感作, 摘脾を行い末梢血液像と ⁵⁹Fe-citrate を用いた ferrokinetics で造血状態を, ⁵¹Cr 標識加熱処理赤血球静注後の血中 clearance 及び臓器摂取率により網内系機能を調べ, 網内系機能と造血との関係を追求し以下の結果をえた。

(1)造血障害惹起マウスでは網内系機能に関し脾と肝は同一の, 肝, 脾と骨髓は相反した態度を示す。

(2)網内系機能特に脾網内系機能の亢進がある場合には造血機能の抑制がみられる。(3)C P 投与は造血機能を抑制させると同時に肝と脾の網内系機能を亢進させ, 骨髓のそれを抑制させる。(4)摘脾は骨髓と肝の網内系機能を亢進させると同時に骨髓の造血機能を亢進させる。(5) H.G.G. 感作は脾と

肝の網内系機能を亢進させ、骨髓の網内系機能と造血機能を共に抑制させる。(6) H.G.G. 大量投与は骨髓の網内系機能を亢進させ脾と肝のそれと造血を抑制させる。

Report I. Acta Medicinæ Okayama, Vol. 23, No 2, 昭和44年4月掲載予定

Report II. Acta Medicinæ Okayama, Vol. 23, No 3, 昭和44年6月掲載予定

論文審査の結果の要旨

本研究はマウスに造血障害を若起し, ^{51}Cr 標識赤血球により網内系機能を ^{59}Fe を用いて Ferrokinetics を調べて網内系機能と造血との関係について重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。よって本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。